

11月の県内景況は、「収益状況」「販売価格」がともに前月比で6.6ポイントも減少した。原材料の価格高騰分を売価に転嫁できない状況が続いている。

情報連絡員による平成27年11月の県内中小企業の景況は、業界全体として「好況」は18.3%（前月比±0）となっており、「横這い」は40.0%（同-1.7）、「低調」とするところが41.7%（同+1.7）、業界全体の「景況感DI」は-23.3（同-1.6）となっています。

1. 全産業の項目別前年同月比DI値の動き

◇「売上高」「販売価格」「収益状況」「資金繰り」「設備操業度」「雇用人員」の項目が前月と比較して悪化しています。

2. 業種別の「業界の景況」

◇前年同月と比較して、繊維製品製造業、サービス業及び建設業は「快晴」または「晴れ」、食料品製造業、木材木製品製造業、鉄工機械製造業、その他製造業、卸売業、小売業及び商店街は「曇り」、運輸業はすべて「大雨」となっています。

◇来月の見通しは、好転、やや好転の見込みとの回答が18.3%（前月比+6.6）と増加しております（好転の回答0件、やや好転の回答11件）（製造業3、非製造業8）。また、変わらないが、61.7%（前月比-13.3）と減少しております。やや悪化、悪化の見込みは、20.0%（前月比+6.7）と増加しております。

平成27年11月の景況について、情報連絡員からの報告は以下のとおりです。（回収率100%）

項目別DI 業種区分	売上高		販売価格		収益状況		資金繰り		雇用人員		業界の景況	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
食料品製造	☁️ 0.00	☁️ -28.57	☁️ 0.00	☀️ 28.57	☁️ 0.00	☁️ -28.57	☁️ -28.57	☁️ -42.86	☁️ -14.29	☁️ -28.57	☁️ -28.57	☁️ -28.57
繊維製品製造	☀️ 33.33	☀️ 66.67	☀️ 33.33	☁️ 0.00	☀️ 33.33	☀️ 66.67	☀️ 33.33	☀️ 33.33	☁️ -33.33	☁️ -33.33	☁️ 0.00	☀️ 33.33
木材木製品製造	☀️ 25.00	☁️ -25.00	☁️ 0.00	☁️ 0.00	☁️ -25.00	☁️ -25.00	☁️ -25.00	☁️ -25.00	☁️ 0.00	☁️ 0.00	☁️ -25.00	☁️ -25.00
鉄工機械製造	☁️ 0.00	☀️ 40.00	☁️ 0.00	☁️ 0.00	☁️ -20.00	☁️ -20.00	☁️ 0.00	☁️ -20.00	☁️ -20.00	☁️ -40.00	☁️ 0.00	☁️ -20.00
その他の製造	☁️ -85.71	☁️ -14.29	☁️ 0.00	☀️ 28.57	☁️ -28.57	☁️ -28.57	☁️ -14.29	☁️ -14.29	☁️ -14.29	☁️ -14.29	☁️ -14.29	☁️ -14.29
卸売業	☁️ -25.00	☁️ -25.00	☁️ -25.00	☁️ 0.00	☁️ -50.00	☁️ -50.00	☁️ -25.00	☁️ -25.00	☁️ 0.00	☁️ -25.00	☁️ -25.00	☁️ -25.00
小売業	☁️ 0.00	☁️ -22.22	☁️ -22.22	☁️ -22.22	☁️ -22.22	☁️ -11.11	☁️ -22.22	☁️ -22.22	☁️ -11.11	☁️ -22.22	☁️ -44.44	☁️ -22.22
商店街	☁️ -50.00	☁️ 0.00	☁️ 0.00	☁️ 0.00	☁️ -16.67	☁️ -50.00	☁️ 0.00	☁️ -16.67	☁️ 0.00	☁️ -16.67	☁️ -16.67	☁️ -16.67
サービス業	☁️ -28.57	☁️ 0.00	☀️ 14.29	☀️ 14.29	☁️ -14.29	☁️ 0.00	☁️ -14.29	☀️ 14.29	☁️ 0.00	☀️ 14.29	☀️ 14.29	☀️ 14.29
建設業	☀️ 20.00	☀️ 60.00	☁️ 0.00	☀️ 20.00	☁️ 0.00	☀️ 20.00	☁️ 0.00	☀️ 20.00	☁️ 0.00	☁️ 0.00	☁️ 0.00	☀️ 20.00
運輸業	☁️ 0.00	☁️ -33.33	☁️ 0.00	☀️ 33.33	☁️ -33.33	☁️ -66.67	☁️ 0.00	☁️ -33.33	☁️ 0.00	☁️ -66.67	☁️ 0.00	☁️ -66.67

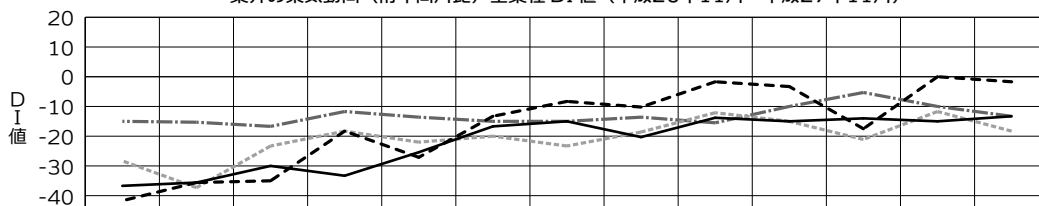
天気図の見方

各景況項目について「増加」（または「好転」）業種割合から「減少」（または「悪化」）業種割合を差し引いた値（D・I値）をもとに作成。その基準は下表のとおりである。

D・I値基準値

- ☀️ 快晴 30以上
- ☀️ はれ 10~30未満
- ☁️ うすぐもり -10~10未満
- ☁️ くもり -30~-10未満
- ☔️ 雨 -50~-30未満
- ☔️ 大雨 -50未満

業界の景況動向（前年同月比）全業種DI値（平成26年11月～平成27年11月）



— 業界の景況
- - - 売上高
... 収益状況
- · - 資金繰り

	平成26年11月	平成26年12月	平成27年1月	平成27年2月	平成27年3月	平成27年4月	平成27年5月	平成27年6月	平成27年7月	平成27年8月	平成27年9月	平成27年10月	平成27年11月
業界の景況	-36.7	-35.6	-30.0	-33.3	-25.4	-16.7	-15.0	-20.3	-13.8	-15.0	-14.0	-15.0	-13.3
売上高	-41.7	-35.6	-35.0	-18.3	-27.1	-13.3	-8.3	-10.2	-1.7	-3.3	-17.5	0.0	-1.7
収益状況	-28.3	-37.3	-23.3	-18.3	-22.0	-20.0	-23.3	-18.6	-12.1	-15.0	-21.1	-11.7	-18.3
資金繰り	-15.0	-15.3	-16.7	-11.7	-13.6	-15.0	-15.0	-13.6	-15.5	-10.0	-5.3	-10.0	-13.3

食料品製造業

<漬物>

あらゆる面で仕入が高騰しており、売価に転嫁できず収益面で厳しくなっている。また、漬物業界全体のポリウムが縮小しており、各メーカーはいろいろな分野への転換を考えている。

<味噌醤油>

10月に比べ、売上がやや上向いた感もあるが、増加と言えるほど伸びず。平成27年9月までの統計でも、醤油の出荷量は昨年度より減少している。県内の人口も減少に歯止めがかからない現実があり、低迷が続いている。主原料の価格は、高値水準であり組合員の経営は厳しい。

<菓子>

11月は需要が増えるような行事などがなく、低調な月。組合では老朽化した設備の予防的な更新の必要があり資金需要が多くなっている。東電の賠償金の終了などもあり一層の資金繰りの悪化が予想される。

<酒造>

前月同様、吟醸酒を中心に販売を伸ばしている。12月からは「新酒」、「しぼりたて」の出荷が始まり、忙しい季節に突入した。

<食品団地>

消費動向に大きな変化はないが、年末・年始等に向けた新商品の準備等で若干生産量が上がってきている。原油価格は若干下がっているが、原料等の価格高騰は続いているため、各組合員企業の収益は厳しい状況が続いている。

縫製品・同製品製造業

<ニット>

今月は受注もありよかったが、これからの受注がゆるやかであり減少しているので心配である。

木材・木製品製造業

<製材業>

木材製品は下がりすぎた価格を戻すような値上がりが続いていたが、需要の伸びの勢いが弱いことから、製材工場等では丸太の手当に慎重になってきている。このため、上昇していた原木価格にも陰りがみられる。

<外材輸入>

夏場に比較し受注は増加しているが、全体的な資材価格を押し上げるほどの展開ではなく、前月並みの推移となっている。

紙・紙加工品製造業

<紙器・段ボール>

受注量は低調だが、食品・雑貨など小箱需要が好調のようで、秋・冬ギフト需要に変化がでてきている。前年比で売上が増加した一部の業者があったが、収益は伸び悩んだ。

印刷業

<印刷>

秋口の需要期にも関わらず、各社とも受注状況はあまり芳しくないようだ。震災後の復興特需も一段落してしまい、業界内では冷え込んでいる。

窯業・土石製品製造業

<碎石>

(県北地区)

1. 当月売上高の前月比 約12%の減

2. 当月売上高の昨年同月比 約18%の増

3. 今年度累計の昨年対比 約18%の増

4. 原因・状況 主に住宅除染工事と生コン工場に出荷が多い。

<生コン>

平成27年11月の組合員生コン出荷数量は、178,273m³と対前年同月比2.1%の増。増加地区は東日本大震災等で被害を受けた道路、建物、港湾等復旧・復興工事が主たる要因。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比2.5%の減、官公需が14.3%の増であった。

■民需の動向

対前年同月比 2.5%の減

①対前年同月比増加地区

<県北地区> 10.0%の増

大原総合病院建築、二本松太陽光発電所建設工事等

<県中地区> 13.3%の増

寿泉堂香久山病院、マンション新築工事、工場増築工事等

<白河地区> 21.2%の増

配送センター、工場、倉庫・事務所建設工事等

<会津地区> 0.2%の増

会津オリンパス再開発棟建設工事等

②対前年同月比減少地区

<いわき地区> 19.4%の減

紙加工品新工場、物流センター、マンション新築工事等

<相双地区> 16.6%の減

物流センター建設、原発保安対策工事等

■官公需の動向

対前年同月比 14.3%の増

①対前年同月比増加地区

<県中地区> 8.9%の増

復興公営住宅、須賀川市役所、医療機器安全評価センター建築工事等

<いわき地区> 5.3%の増

港湾災害復旧、小名浜東港関連工事等

<相双地区> 42.4%の増

八木沢、円淵トンネル、減容化施設工事、LNG基地工事、海岸復旧工事等

②対前年同月比減少地区

<県北地区> 5.0%の減

霊山トンネル、県庁北庁舎、医療科学センター新築工事等

<白河地区> 7.8%の減

千五沢ダム改築、石川町役場、矢祭小学校建設工事等

<会津地区> 12.6%の減

滝沢浄水場工事、橋梁工事等

鉄鋼・金属・一般機械製造業

<各種プラント機器>

当組合のプラント設備関連業界は、売上高で前月比23%減少になるも、前年同月比においては85%増と先月に続き増加した。累計では前年比で9%増と回復したが、先月に続いての売上高減少と先行きの工事案件薄が心配である。

卸売業

<卸売業>

(県中地区)

小売店対象卸は年末商戦へ向けてモノが動き始めている。ただし例年並みであり、特別、売上が好調という話はきかない。業務用卸に関しては、比較的堅調に

推移してきたが、ここにきて一段落という声が増え始めている。全体として復興需要にやや陰りが見えてきたものと推察している。

<再生資源>

鉄スクラップ・非鉄金属の低価格の状況は未だ深刻な状況である。しかし、11月末にきて市況の底入れ感が台頭し、12月の価格変動に期待している。古紙価格は維持しているが、発生減、回収量の減少は続いている。

小売業

<共同店舗>

(県中地区のOショッピングセンター)

売上・客数は前年比でやや減少、前月比でやや増加。11月度は、物販で前年比、前月比を落したが、飲食が好調。

景気が低迷な「感じ」は、依然継続しており予断を許さない。

(県中地区のNショッピングセンター)

米価の下落からくる購買意欲の減少が感じられる。

<石油>

元売仕切価格が若干値下がりし、小売価格も下落している。しかし、県内各地区において、価格競争が激化しており、仕入価格を下回って販売していると言わざるを得ない価格も散見される。

<食肉>

牛肉が高値のまま、販売価格の上昇を抑えながら、収益は悪化も供給を維持している。

<青果>

2～3ヶ月間続いた単価の高騰から一変して安値で取引されたが、気温も下がらず暖かかったのか毎年この時期に伸びる鍋野菜の需要が伸びなかった。会津身不知柿も、出荷量や単価もそこそこだったが、原発事故以来伸び悩み、贈答用に使用する消費者が年々減少している。事故以前の取引に回復することは困難だ。年末にかけ売上、取扱増加になることを期待したい。

<電機>

暖冬気味で暖房器具の動きが悪いが、最近暖房をエアコンにする傾向にあり、暖房を主にしたエアコンは単価が高いので、総売上が伸びる傾向にある。

商店街

<福島市>

駅前活性化プロジェクト“フユフェス”が始まり、毎週末には何らかのイベントが開かれ、賑わいは感じられた。通勤通学の時間帯にはそれなりの交通量・歩行者数はあるが、それ以外の時間帯は曜日によっては寂しい感じが否めない。駅前通りだけでなく、最寄りの国道13号線の交通量自体が少ない気がする。12月は好転することを望んでやまない。

<郡山市>

11月は商店街最大のイベント、ウィンターフェスティバルが行われた。来街者は前年に比べて伸びはなかったようだが、共同駐車場の催事用定期券が増えたので全体的にはやや微増だった。ただ、新たにオープンした近くの立体駐車場は認知度が広がってきて利用率が高くなっているようで、そのせいかお客様は相変わらず減少を続けているので、今後年末年始へどのくらいの影響が出てくるかが心配。

<南相馬市>

11月は秋まつり歩行者天国が実施された。好天に恵まれ、久しぶりのにぎわいとなった。各種企画で子供から大人まで楽しんでもらえたと思う。

<会津若松市>

11月は前半暖かく、中頃から寒くなり、天候に左右された月となった。アーケードを撤去した為、雨の日の客足が鈍くなり、お客様からは不便という声が聞かれた。これから降雪にたいしての対策が必要だ。

<いわき市>

11月前半は例年ぐらいの気温で、秋から冬物への動きもみられ、「やっと寒くなってきた」と期待がもてたが、以降は暖冬の影響で寒さを感じない日が続き、重衣料を中心に冬物への動きも止まってしまった。アパレル・ファッション関連を中心に厳しい11月となったようだ。飲食店は好調を維持しているが、人手不足で悩み、年末の書き入れ時に不安を残す。ただただ寒くなるのを期待するのみである。

サービス業

<旅館業>

(土湯温泉)

バイナリー発電事業が稼働したことから、視察者やツアーへの参加者が多い月であった。平成27年度だけのべ約2000名が土湯源泉地域を訪れ、その約6割は宿泊等に繋がっている。県外からの参加者も多く、風評被害払拭と地域の活性化につながり、当初のまちづくり計画のひとつであるエコタウン形成に一歩踏み出した。

<理容業>

全体的に大きな変化もなく、例年通りの状況のようだ。社会全体が今一つ景気がよくないので、サービス業全体に活気がないような気がする。特に理容業は不況になると来店頻度が落ちるので、ムードだけでもいいから明るい話題がほしい。12月は一年で一番忙しい月なので期待しているが、忘年会やお正月に向けておしゃれなヘアスタイルを提案していきたい。

<廃棄物収集運搬業>

通常業務については大きな変化はない。震災関連事業が10月からスタートした。おおむね3年間の事業。産業廃棄物に関しては依然として排出量は震災前の水準には届かず、当該事業として苦戦している状況。10月あたりから各事業者から後継者問題が出てきている。現在の事業主の中で特に65歳以上で後継者がいない又は後継者が適任でないとの理由で事業について撤退を含めての話が出てきている。組合としてもしっかり取り組んでいく課題と考えている。

建設業

<建設業>

(県南地区)

除染業務は住宅のほか道路の除染も発注され、順調に受注しているが、一般の土木工事は減少している。建築工事は官民ともに若干多く発注されているが、一般住宅の着工は減少している。

<管工事>

前月比で給水・排水設備申請とも増加。前年同月累計対比では給水設備申請が増加し、排水設備申請が減少している。

<専門工事>

旭化成建材の杭工事偽装問題が、杭工事業界全体への問題へと拡大した。評価基準に対して安全『度』と安心『感』が混在する状態にあり、許容されるべき安全係数そのものが感情論だけで見失いかねない状態に非常に懸念している。なお、国交省からもガイドラインが提示されたようなので、慌てずに適正な対応に当たる必要がある。実際に仕事が遅延している現場も出

始めており、特定の業種のみの問題としてではなく、自らの業種にも同種同様の問題があるのかもしれないという意識を持ち、今回の一件が対岸の火事のみで終わらないようにしなくてはと感じている。また、県の入札制度監視委員会の聞き取り調査が行われたが、なかなか改善が進んでいないのが現状。きちんとした意識と覚悟をもってあたらないと、目指すべき目標にはなかなか到達できないのではないかと感じている。

運輸業

<トラック運送>

(県北地区)

年内の燃料価格は、若干の増減はあるものの安定推移するものと思われる。受注面、収益面については企業間でのバラツキがあり地区内の総評は難しいが、当組合会員は概ね横ばいで推移している。

<ハイヤータクシー>

動きがない。12月の年末には少しでも動いてほしい。

県政トピックス

2015. 1

働きやすい職場環境づくり推進助成金を活用しませんか

福島県では、家庭と仕事が両立でき、男女がともに働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組む企業を次世代育成支援企業として認証しています。認証を取得している企業は、働きやすい職場環境づくり推進助成金を利用することができますので、是非御活用ください。

◆ 働きやすい職場環境づくり推進助成金

ソフト事業に対する助成金		
働きやすい職場環境づくり事業	助成対象者	(1) 福島県次世代育成支援企業認証制度(※1)における、以下のいずれかの認証を取得している企業 ① 「働く女性応援」中小企業認証 ② 「仕事と生活の調和」推進企業認証 ③ 「子育て応援」中小企業認証
	事業例	働きやすい職場環境づくり検討委員会の設置・運営、就業規則の策定・改定、育児・介護休業法を上回る制度導入、育児・介護支援相談員の設置、従業員のニーズや実態把握のための調査、社会保険労務士等のコンサルタント派遣等にかかる経費
	助成額	上限 50万円 (ただし助成対象経費のうち10万円を超える部分について助成する。)
人材育成事業	助成対象者	(1) 福島県次世代育成支援企業認証における「働く女性応援」中小企業認証を取得している企業
	事業例	従業員のスキルアップのための研修実施経費、外部の研修会等への参加費、ワーク・ライフ・バランスに関するコンサルタント派遣などに係る経費
	助成額	上限 50万円 (ただし助成対象経費のうち10万円を超える部分について助成する。)
ハード事業に対する助成金		
社内の労働環境整備事業	助成対象者	(1) 福島県次世代育成支援企業認証における「働く女性応援」中小企業認証を取得している企業 (2) 「働く女性応援」中小企業認証における認証要件において計3ポイント(※)以上取得している企業 ※ポイント 認証要件(ア)各1ポイント(イ)2ポイント
	事業例	社内の労働環境整備(休憩室の整備、トイレの改修、分煙化、事業所内託児所の設置、在宅勤務などに対応するためのシステム構築及び機器等の整備等)に係る経費
	助成額	上限100万円 (ただし助成対象経費のうち20万円を超える部分について助成する。)

※1 次世代育成支援企業認証制度とは、働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組む企業を県が認証する制度です。認証については下記ホームページを御覧ください。

福島県 次世代育成支援企業

検索

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/32011c/jisedai.html>

◆ お問い合わせ 福島県商工労働部雇用労政課 電話 024-521-7289